

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 5 月 15 日

事業所名 ショーンズハウス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		2階に落ち着いて学習できる部屋を作っています。	
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			フロアにクッション性のあるマットを敷き角となる部分にはクッションガードを取り付けています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			定期的に会議を行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			年1度は保護者様に評価を頂き職員間で情報を共有し業務改善に繋げています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		日々の活動内容をわかりやすく投稿しています。	当法人ホームページにて公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在は第三者による外部評価を行っていませんが今後は必要に応じて行えるよう考えています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			外部研修や内部研修、会議等に参加しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		相談支援事業所とも連携し作成しています。	定期的にあセスメントを行い保護者様、相談支援事業所、学校と連携を取り作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			特化授業の先生と連携を取り行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			プログラムは固定化しないよう特化授業の先生と話し合いながら色々な体験や経験ができるよう工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		滞在時間に合わせ支援内容を工夫しています。	休日通常の支援内容以外にもイベントを行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			職員全体で把握できるよう、その日の支援内容、配車の確認を毎日行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			緊急時は支援終了後に行いすぐに対応しています。それ以外は翌日行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		○	毎日の記録をファイルしいつでも観覧できるようにしています。	日々記録を取り、職員間で情報を共有しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			半年に1度モニタリングを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校の先生方と連携を取り調整を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		情報を共有することにより相違が生じないように注意しています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		外出日を設け毎月2回程度交流できる機会を作っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に保護者様に様子をお伝えしています。
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		マニュアルに沿って行います。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に詳しく説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		電話での対応も行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	コロナ禍だったため保護者会を控えていましたが、今後は落ち着き次第開催できればと考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		緊急時対応マニュアルを整備し、迅速に対応できるようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月Facebookで活動内容を公表しています。
	35	個人情報に十分注意している	○		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		お祭りやイベントに参加しています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		外部の情報も含め、必要に応じ資料をお配りしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		マニュアルを作成し定期的に施設内訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に研修を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現在は身体拘束を行う場面や必要とする場面はありませんが必要時はマニュアルに沿って適切に行っていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		必要に応じて指示書を基にリストを作成していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	ファイルいつでも閲覧できるようにしています。	職員全体で情報を共有し話し合いの場を設けています。